婦人新報

十二月號

第貳百六拾九號目次

□斷つても〳〵　守屋東
□説明に閉口致し候　小橋三四子
□都を離れて　大橋房子
□初旅の憶ひ出　宮川靜枝
□慈愛舘特別運動につきて　NOK
□現今の社會問題と矯風會の責任　錦織くら子
□家を持たんとする若き人々に　淺田みか子
□基督教婦人矯風會と五十年の閲歴　久布白落實

基督教婦人矯風會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人産科
小兒科
女醫 吉岡彌生

△院長診療 宅診午前 往診午後
△醫員診察 午後

産室及病室の設けあり随時入院の需めに應ず

東京市麴町區飯田町四丁目三十一番地
東京至誠病院
電話番町二二五七番

社告

□婦人新報定（郵稅共）

一年分（前金） 金壹圓也
半年分（前金） 金五拾錢也
一ヶ月分（前金） 金九錢也
（郵券代用一割増）

□廣告料

一行（五號活字） 金參拾錢也
一頁 金五圓也
半頁 金參圓也
四分ノ一頁 金貳圓也

振替口座東京三二四六九
編輯及事務所 婦人矯風會本部

大正八年十二月十四日印刷
大正八年十二月十五日發行
發行兼印刷人 矢島楫
編輯人 守屋東
發行所 婦人新報社
東京赤坂區新町三丁目四十六番地 婦人矯風會事務所
印刷所 福音印刷株式會社 東京京橋區銀座四丁目

No. 269 December, 1919

WOMAN'S HERALD.

CONTENTS.

1. W. C. T. U. and its History .... Mrs. O. Kubushiro.
2. To the Young People who are about to make Home .... Mrs. Asada.
3. The Present Social Condition and Our Responsibility .... Mrs. Nishigori.
4. Jiaikan Work .... N. O. K.
5. I Here the Groans of Darkness ..... Miss Miyagawa.
6. On a Trip .... Miss F. Ohashi.
7. An Inexplicable Matter .... Miss M. Kohashi.
8. A Dilemma .... Miss Moriya.
9. Reports....................................

FUJIN SHIMPO OFFICE.

No. 46, Sanchome, Shinmachi, Akasaka,
Tokyo, Japan.

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

基督教婦人矯風會と五十年の閲歴

幹事　久布白落實

四十六年前の十二月

十二月は矯風會に取つて餘程思出多き月と申されませう、千八百七十三年、十二月、酒の爲めに國民の粹を奪ひ去られんとせし米國の目醒めし婦人等は、團結して立つて始めてこの社會的罪惡となつた酒と戰鬪を開始しました、國を思ひ、家を思ひ、我が良人、我が子を思ふ婦人の一念は、凝つて一つの祈禱團となりました、酒と酒屋を米國の都市より、領土より除かん爲めには、一命をも重ぜざるの意氣を以つて、奮ひ立つた婦人の一團結の彈丸の如き母の一團は、吹きすさぶ寒風を物ともせず、市内各派の教會の門を開いて年末忙しき内に此處にも彼處にも、祈の群をなし、この都を酒の呪より救ひ給へと祈つては出で、出でゝは戰ひ、一軒より一軒と酒屋を訪ふて、終ひに有ゆる迫害の内に、二百五十の都市より酒屋を驅逐するまでに烈火を熾しました。

卅三年前の十二月

十三年の後、同じく十二月、默々裡に十年間、晝夜酒の爲めに苦悶を重ねし極東の一婦人は、この音信を天來の福音と聞いて、未だ眠り深き我國の民衆の内に夙に醒めて婦人の一團と共に、立つてこの家庭と婦人を酒の呪より解放するの呼びを擧げました、日本婦人矯風會は斯くして千八百八十六年、明治十九年十二月六日、東京日本橋教會にて、其呱々の聲を上げたのです。十二月は全國、否萬國の矯風會員に取つて、其誕生を記念すべき月と申さねばなりませぬ。

萬國矯風會の起源

此れに先つ事十年、即ち千八四八十四年、矯風會は始めて、人種、民族の差別を徹廢して、世界は一つのホームなり、民族皆神の民、善を爲す此れ我が宗教と

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

稱へて萬國と提携して、共同の敵に當る事となりました丁度この前年、千八百八十三年、ウイラード女史は若きゴルドン女史と共に、大陸講演旅行して、太平洋の港桑港に着しました、此時始めて、ウイラード女史の眼前に阿片の巣窟と、醜業者の店とが軒を並べてこの人々の前に其醜を曝らしました、女史は同年米國矯風會の大會に出席して、今や我等は民族の別、國家の差に捕へらる可き際でない、酒と、阿片と、不潔に對し、萬民と共に手を携へて、神の創造し給ひしホームの敵を一掃せねばならぬと、高調力説する處がありました。この矢叫びに動かされし全國の代員は、遂に卒先して矯風會を、萬國組織と爲す事に一決し、英國のルカス夫人を擧げて先づ第一の萬國矯風會々頭と爲ました。

現今萬國矯風會の沿革

英米は二大姉妹國として手を携へて、世界の婦人を呼び醒し始めました、神を信じ、人類を愛し、家庭を清めんとする萬國の婦人に向つて、千八百八十六年以來廿二名の萬國特派委員は年々歳々各國に向つて派遣せられました　レビット、アッケルマン氏等を始めとし、パリン、デビス、スッラウト女史に到るまで十數名は我國の人々も其記憶に存するらしく思ひます。

萬國より代表者を出せし大會は、千八百九十一年、ボストンに開かれしを嚆矢とし、爾後七回、米國シカゴ市、英京倫敦、加奈太のトロント市、スコットランドのエデンバラ市、瑞西のゼネバ市、米國ボストン市蘇國のグラスゴー市、と萬國に其大會を開き、明大正九年四月十八日を以つて、第九回萬國矯風會大會を、再び英京倫敦に開催せんとして居ります、今日萬國中同盟に加入し居るものは、北米合衆國、英國、ウエールス、蘇古蘭、加奈太、濠洲、ニユージーランド、ブルガリヤ、日本、支那、サイアム、ビルマ、海峽地方印度、ケープコロニー、マダガスカル、佛蘭西　デンマルク、智利、エヂプト、ノルーウエー、スヰイデン、白義、キユバ、パレスチン等、大小五十箇國に渡り會員數は青年部を合して優に五百萬人を數ふるに到つて居ります。

主義と目的

矯風會は神を父とし、人類を兄弟とし、世界を家とする基督の精神に其の根抵を置いて居ります、神を信じ、基督を信じ、己れの如く隣人を愛すると云ふ以上に何等信念に墻壁を設けませぬ、其れ故教界内の如何なる宗派も偏に其懐に活動する事が出來ます。

其目的は人類の救濟に在ります、箇人の力を團結して、國家社會を改造し、罪惡の陷穽を妨ぎ、社會を安全なる神のホームと爲さんが爲めに、有らゆる努力を惜しみませぬ、千八百九十一年ボストン市に於て開かれし萬國大會は左の主義を宣言致しました。

萬國基督教婦人矯風會の主義と目的の宣言

一、我等は神の國の來る事を信ず、此の爲めに奉仕するは最高の自由なり。其律法は我等會員の心に記されかつ又自然界に記され、人の魂を全く更に爲すものなり。

一、我等は己れの如く汝の隣を愛すべしとのキリストの敎へを信ず、故に各人の生活は他の人の安全にして有益なる規範たるべきを期待す。

一、此故に我等は、同じ危險を有し、同じ希望と、共同の目的を有する兄弟姉妹に左の誓約を爲して、日常生活中に其の道理あり力ある敎へを實現せられんことを期待す。

誓約

我等神の祐助により、凡べて一切の酒類を飲料として用ふる事を禁じ、かつ阿片の使用を禁じ、此等を用ゐ又販賣する事を禁ずる爲め凡べての適當なる方法を用ふる事を誓約す。

一、此の誓約を實行せん爲め、我等は、先づ少年青年を敎育し、健全なる輿論を起し、飲酒家をして、宗敎、倫理、學理等、有ゆる方法によつて其改善を促し、且つ我も人も、純潔にして健全なる生活の律法を犯さゞらむ事を努む、且つ又我等はキリストの福音に其根抵を置く此等の主義が國家の法律及び社會の習慣に編み込まれん爲めに努力し且つ祈るものなり。

一　此の目的の爲めに、萬國に在る基督敎婦人等に懇

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

請す、我等と心を一つにして、人類の身體に亞で、全能者の愛し給ふ、各自の家庭を聖靈の宮殿と爲さんが爲めに、我等の家庭を潔め、男子も女子も同じ純潔なる立場に立ち、同じ自由と平和を樂しみ、呪ひと禍なき幸福なる彼岸に達せん爲め一致協力せられんことを、又同年同處に於て、左の憲法の明文が制定され且つ採用せられました。

憲　法

神と人類との愛に於て、民族、人種の差別なく、萬國の基督信徒の婦人を代表して我等は強き信念を以つて結束す、我等の一致團結せる信念と働きにより、神の祝福の下に、各箇人の純潔なる生活に對し、強き輿論を喚起する事、且つ凡べての魔睡性の毒物を全廢する事、又法律により、酒、阿片、及び醜行を全く家庭に近けざる事、又法律により賭博及び安息日違犯を禁ずる事、又各國の婦人をして投票の權を獲得せしむる事、又戰爭を世界より一掃せんが爲め、國內又、國際等に法廷の設けられん爲め、強き輿論を喚起することを期す。

手段と方法

以上の主義及び目標に向つて、憲法に從つて前進する時に、婦人矯風會の採用し來りし手段と方法は、ウキラード女史に依つて說明すれば下の數語によつて盡す事が出來ます、今日まで結ばれし凡べての會の內、婦人矯風會は今日の文明の最も善きものを採用します、又此の會は、祈に依つて生み出され、母の愛の內に育てられました、其範圍は最も廣く、其目的は最も親切、其歷史は又最も勇敢なるものです、其の博き同情は、凡べての正しくして眞摯なる婦人を喚び起して其家庭を保護し、愛するものを飮酒の害毒より救ふ、共同の目的の爲めた結束するに到らせます、酒、阿片、煙草、醜行、賭博、凡べて人類を神の子たる姿より遠ざくる敵の潜む限り、如何なる人生の小路にも別け入つて、矯風會は其戰ひを進めます、同時に社會、國家を改造して、此處に神の御國を建設し純潔なる男女、幸福なる家庭を以つて充すまで、其奮鬪努力を繼續する使命を帶びて居るものです。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家を持たんとする若き人々に

淺田みか子

北側の室

客室より初めて家人の居間、臺所、湯殿及井戸まで皆南側に欲しいとすると、北側には持つて行く室がなくなるやうで御座いますが、まづ北側でよろしいものは、便所、內玄關、女中室、物置、食事室のやうなもので御座います。食事室は北側では困ると思召すお方も御座いませうが、一體よく考へて見ますと食事を致します時は朝は日の出ぬうちで、夕方は日の入つた後で御座います。晝は日曜の外は毎日不在の人が多う御座います。家に殘る人は母親と幼兒位で御座いますから、主婦の居間で食しても至極簡單にすませることが出來ると思ひます。さて朝夕の寒き時は日の光りのなき時で御座いますから、たとへ南向き室でもストーブか火鉢の設備が要るもので御座います、依て食事室は北側で差支へないと思ひます、勿論南側に取る場所があれば結構で御座いますが、又北側の室も夏向きは非常に必要で御座います。夏時は南側の室は日が近くて暑いもので御座いますから、皆北側の室に逃げて參りますゆゑで御座います。まづ食事室などは北側に取つて宜しからうと思ふので御座います。

押入

何の室にも其室の入用に應じて或は深き押入れ、或は淺き戸棚を付けたいと思ひます。淺き戸棚には棚を澤山に作つて、物品を整理して置きたいと思ひます。其室で入用なものは其處の押入れにて事すみ、外に取りに立つ必要のないやうに致したいと思ひます。又押入れの戸は、體裁上表は襖にても裏は板で張りたいと思ひます、これを戸襖と申します、押入れの行李などがつかへて裏を破るものですから。又子供室などの戸は表も共に板にしたいと思ひます、紙の襖では、ぢきに破れて仕舞ひます。押入れの上の小壁の處は天井まで空地が御座いますから、これは押入れにして、廢物

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

や、滅多に入用のないものを入れておきたいと思ひます。又押入や戸棚には一々鍵のかゝるやうにして置きたいと思ひます。一家旅行などする時には、留守番の人も安心だと申します。

押入れの床は殊に丁寧に張つて、地から濕氣の上るのを防ぎたいと思ひます。行李や箱を入れておく時に、二寸角長さ一間のものを一本、戸のそばに置いて此上に行李や箱の底をのせかけて置きますと、床との間が空き、濕氣を除けます。七臺際に窓を拵へて濕氣の逃げるやうにしておきますと、隨分濕氣を防ぎます、廊下の下などは格子にして置いても宜しいと思ひます。

當座棚

家人が誰でも通るといふ便利な處に、當座棚を造つて置きたいと思ひます。不在中に誰かに小包が來たとか、到來物があつたとか、或は手紙が來たとか、或は手帳鉛筆などにしても落ちて居るものがあつた時は、誰でも見付けた人は拾つて此棚の上に置きます紛失した人は、此棚をさへ見れば、家の中で失つたものは必ず見出すことが出來るといふやうに致しますならば至極便利であると思ひます。又此下に籠でも一つ掛けて置いて紙くづなどの散つて居つた時に直ちに拾つて入れておく、何でも便利に設備が出來て居れば家の中は亂れません。廊下に紙屑が散つてあつても隨分遠方まで持つて行かなければ捨てる事が出來ないと思へば、皆面倒だから蹴飛ばして行つて仕舞います。主婦は是等を防ぐ設備をする義務が御座います。

巾木

壁の裾には何んな座敷でも廊下でも巾木を付けておきたいので御座います、箒が當つて壁を傷めたり或は物が觸れて砂を落としたり致します、通常日本座敷の砂壁には、よく紙が貼つて御座いますが、これも追々には、摺れて毛羽立つて來たり破れたり致します、巾木に越した事はないと思ひます。

白木の汚れ

日本の家屋は白木のまゝで御座いますから、手垢など付いて汚なくなります。それ故ラックかニスを柱や戸に塗つておけば、よく付きましてもすぐ除れて仕舞ひます。併し檜などの綺麗な柱や長押には、從來の習慣上塗るに忍びぬと思ふ人も御座います。若し塗らずに置いて手垢が付きましたら、ガラスミガキといふ舶來の石鹼が銀座の龜屋あたりにはあつたと思ひますから、これを濕らした切れにつけて拭けばきれいになり

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ます。

椽板の磨き方

椽の板は豆腐の殻で拭くとか、糠を煎つて拭くとか、いろ／＼拭き方もあるやうで御座いますが。私が試みたうちで最も早く手數が掛らずに、艶の出ますのは、先づ砥の粉が取れるまで半月か一ケ月微温湯で毎日雑巾掛けをいたし、其後は微温湯で拭いて乾いた處を胡瓜の實を布に包んで拭くので御座います。數回拭きますと、もう十年も雑巾掛けをしたかと思ふ程艶が出て參ります。最も木材の質にも因るか知れませんが、古き松や檜などは鼈甲のやうに光つて參ります。併し注意すべきことは、若し此椽に一滴の水を落しても拭かずに浸み込ませて仕舞ひますと、どうしても取れません。水を落としたらばすぐ拭きますと別に跡を止めません。

階段の造り方

階段はあまり細かく致しますと、尺幅の踏み板も疊に入り込むことが多くなつて、足の乘る處は半分位に狭くなつて仕舞ひますから、却て上り下り致しにくゝなります、あまり急なのもいけませんが、あまり勾配が緩いのも不自由で御座います、理想的といふ處は幅一尺の踏み板を五寸の段に致し、此一尺が疊へ入り込まぬやうに、一尺は一尺踏めるやうに出來て居りますので御座います。五寸の高さに一尺を乘じて五〇となります。八寸の板に六寸の高さを乘じて四八となります。五〇に近いほど理想的で。これが六と七で、四十二だとか。八と八で六十四だとかいふことになると、誠に不出來な階段となります。

又斜三角形の板を以て俗にねぢり階段といふのが御座いますが、これは料理屋か何かのやうな氣がしていやなもので御座います、又子供などには危險で御座いますし、大人にも踏みはづす恐れが御座います、ゆめ此階段は作らぬやうに注意致したいと思ひます。

雨戸

雨戸は上の段を無双窓にして置く時は、夏は室内涼しく且つ明り取りになります、風雨の時は締めれば差支へないのです。椽側硝子戸の腰も無双にしておく時は、夏は涼しう御座います。

簞笥の臺

簞笥臺は床から上る濕氣を逃がすために、美術的に、えぐつてあるもので御座います。此中へ塵が入つて困るもので御座います。依てこれは正面に明けずして、

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

兩側面か或は裏面にあけて、而かも明けた方を上に向けて、床と臺とは密著せしめ、少しく臺を高くして置く時は、濕氣も逃げるし、塵の入るのを防ぐことが出來ると思ひます。

私の理想は家具は室内裝飾に用ふるもの丶外は何でも戸棚の中に入れたいので御座います、室内へ出しておくと塵が積つて、お掃除に多くの時間を毎度費すやうになり、又室が狹くなつて家具を傷くることなどが多くあります。故に居間或は納戸には簞笥を入る丶寸法に戸棚を造るのです、居間の隣室を納戸に造りますと、長さ六尺五寸、幅三尺五寸の押入れを造る時は、兩室から簞笥を裏合せに、四棹を入れて兩面から板戸を締めておき、此戸に鍵を掛けておきますと、一々簞笥に鍵をかけなくても安全で御座います。

疊

疊は塵がたまつて不衞生であるから廢せよといふ人も御座いますが、日本婦人の服裝が、今日の儘である以上は、疊は廢することは出來ません　如何なれば板の間に莚或は絨氈を敷きまして椅子に倚ると致しますと、裾が冷えるので御座います。併して絨氈や莚も塵は疊に劣らず、たまるのですから、五十歩百歩と思ひます、寧ろ備後表の目の能く密んだ厚き疊を敷きつめてある室は、塵もたまらず、汚れもせず坐して温かで南側の日向りよき椽に向つて坐つて居る心地は又捨てがたき趣きがあります、又雪ふる日などに火鉢の側に厚き座布團を敷きて坐して眺むれば、「埋火のあたりは春の心地して降り來る雪を花と見るかな」といふ誰やらの歌を想ひ出します。粗造な西洋間に硝子窓を閉め切つて炭火を焚いて居るなど顏ばかり上せて裾は冷え實に不衞生だと思ひます。まあ西洋館のスチームの設備ある室に洋裝して住まへない以上は、負惜しみかは知らぬが、日本の疊は廢することはできぬと思ひます、唯上等のものを使ふやうに心掛ければ、左程塵も立たないと思ひます。併し當時は改良疊といふのがあり、疊表の下に塵埃が下に入り込まないやうにゴム布の如きものが入れてありますが、私はまだ使用致して見ませんが、宜しいかも知れません。

けれども疊の上に坐して居れば活動に不便なことは確かです。故に坐つて居て人を使ひたくなりますから、服裝と住居の改良のために收入の能率を増し、冗費を省き、意義ある生活を致したいので御座います。是に就て少しく考へて見たいと思ひます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

現今の社會問題と矯風會の責務

大阪支部書記　錦織くら子

人文進化の警鐘と共に、至る處に幾多の社會問題は論議され、曰く勞働問題、曰く婦人問題、曰く何々と、各自其の主觀的解決法を試みつゝ、世は論戰討爭斯くして現代は社會文化の道程を辿りつゝあります、此時に當つて我が矯風會は斯かる問題に對して如何なる態度に出づべきでありませうか、以下聊か私の微意の存する所を披瀝して見たいと思ひます。

勞働問題

民本主義が戰後に於ける我國を一貫したる主潮となつて以來、利權擴張の獅子吼は先づ著るしく勞働界を搖り動かしました、然して利權獲得を貫徹すべき爲には同盟罷業、怠業、あらゆる手段を以て之を徹底せしめんとする傾向は、大方の等しく熟知する所であります、今や勞働八時間制は實施されんとし、既に實施さるゝ所もあり、勞働者の賃銀は値上され、益々權利を認めらるゝに至る事は、大に慶賀すべき事でありますが、又一面茲に杞憂の伴ふ事を沒却する事は出來ません、それは既に識者に由て唱導されて居る所の勞働者が、時間と金との餘裕を却つて酒色淫亂の方面に空費せんかとの恐怖であります。

時間の善用と教育部の活動

物價騰貴と生活難の聲が喧しい昨今奇異な現象とも見る可きは、道頓堀、千日前等が却つて此聲を耳にしない以前よりは幾倍繁昌すると言ふ事であります、更に各所の料理店、遊廓酒場等の賑ふ事であります、之は明かに我等をして杞憂なれかしと祈りつゝあつた恐怖が既に實現されつゝある事を示すものでありますまいか、然らば之等の弊を少からしめ且つは積極的に勞働者の精神的修養を計る爲に我矯風會のなすべき責務は何であろふか、茲を以て私は其積極的運動として先

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

づ教育部の奮起に期待するものであります、基督教會は之がために傳道方法を講ずるも可、然し兎に角基督教の布教と言へばいづれの工場等でも之を拒むけれども、矯風會が教育的講演をしたいからとて各工場主等に交渉して續々工場内に演説會等を開く事を許可されるならば其効果は著しいものがあらふと思はれます、尙又單に勞働者に對する爲とのみ言はず。一般人士に對する思想善導、社會覺醒の意味に於て、此際教育部の絶對的奮起を待望するものであります、大阪支部に於ては既に教育部の運動として、府及市の後援を得て、各小學校を開放して社會講演會を開き、專ら禁酒節米、男女貞操、家庭の純潔、衛生の五項に就て、社會講演をなし、市民教育に目下全力を傾倒しつゝあります、之等の運動が、矯風會教育部の、時局に處する運動として續々各支部に起らん事を希望するものであります。

風俗部の活動

勞働時間短縮と賃銀値上より來る弊害の消極的運動としては、風俗部の一大活動が當然起らなければなりません、單に勞働問題に對してのみと言はず、時局に鑑みて此部の運動が大に貢献する所が無くてはなりません禁酒運動と言ひ男女貞操問題と言ひ、改造を實現せしむべき第一手段であらねばなりません、惟ふに禁酒運動の如きは、國民禁酒會等と相提携して之が實行を期し、男女貞操問題の如きは、從前の主義を更に時局の警鐘と共に軍鼓を鳴らして突進すべきであると思ひます、最近關西方面に於ては一大文化運動を起して社會教化に貢献せんとの計畫ありと聞いて、我等は大に欣喜を深からしむるものであります、如上の問題の如きは、文化運動の其一面たる事を信じて疑ひません、我等は出來得る限り、之等の運動と相提携して其成功を期したいものであります。

文書部の活動

教育風俗部の運動が盛なると共に勢ひ文書部の活動が伴はなければなりません、現今の思想を善導すべき責務の大なると共に、一般人士並に矯風會員が此等社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

會問題に對する態度を鮮明ならしむべく迷路に停滯する者が無いとも限りません、之等の人々に一定の識見を以て指導を與へ、然して社會文化の針路を誤またぬ樣計るべき責務があります。

現時基督教界は、現今の社會問題に對して基督教徒が如何なる態度を以て行くべきかに就て講壇より或は其雜誌によつて一定の指針を示し、指導を與へて居ることは誠に當を得たる事であります、勿論我が矯風會も基督教を基底として其上に樹立したる主義なる以上、大體に於て、基督教徒の取るべき態度と同樣なるべきは勿論でありますが、更に矯風會員として其矯風方面に一つの新らしき指導を要すべき個處ある事を思はなくてはなりません、之等の指導の全部に非ずとも幾分は文書部當局の大に考慮を要すべき處であると思ひます。

法律部

普通選擧運動は既に起つてをります。私は本會が此運動にたづさわれと言ふの意味ではありません、私共は之が成功の爲に祈りたいと思ひます、更に一歩を進めて我等は早晩婦人參政權を獲得しなければなりません、我等婦人は男子の我儘勝手なる男子本位の法律に何時迄も屈從して居る譯には參りません、婦人も之に參與して平等の權威の下は公平なる法律を頂いて、一夫一婦刑法改正の請願が今回通過せざるが如き片手落ちの法律に從ふが如き愚を、封建の昔時ならば兎も角世界改造の叫ばるゝ今日に於て、敢て斯かる屈辱の地位に居らざる可からざる男子の壓迫より速に開放されなければなりません、普通選擧の成功、婦人參政權の獲得いづれも我等朝夕の祈りに忘るゝ能はざる問題であります。

婦人の自覺

以上述べた所は、ほんの槪略にしか過ぎません、社會改造の叫ばるゝ今日、兩性を以て形造らるゝ社會の一半を女子とするなれば、我等婦人の無自覺は、社會進化の行路をして半ば阻害するの不幸を招くものであります、婦人の覺醒並に社會に對する活動、又現代の急務なるべきを思ふて茲に愚見の一端を披瀝した次第であります。一九一九・十一・一九

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

慈愛館の特別運動について

N O K

一昨年の暮、最早や今年も數日を餘すのみと云ふ時會頭及び、M姉の間に、珍らしき烈しい論判が在りました、其主意は、年末は近いた、然し慈愛館の爲めに、維持費として出す可き約束の負擔額、五百圓也は如何にするかとの問題でした、其時會計の手許には、僅か五百圓足らずの金員を藏するのみでした、會頭は此れが爲めに、年分心を勞し、終ひに其時、凡べてについて最も責任を感ずるM姉に對し、其心痛を洩らされたのでした。當時直接の責任者ならぬM姉は可なり迷惑な面持でした、然しそれにもかゝはらず年末に押し迫つて、非常の苦心を以つて幾何の金を得、且つ會頭は其貯金の底を拂つて、不足を滿し、約束の金員を拂ひ込まれました。

昨年の負擔額は、二千圓也ときゝました、慈愛館の近年の膨脹は著しいものです、元日より苦心を重ねて、この年は、理事、常置員分擔して千圓足らずの金員を得て、其責めの幾部を果しました。

今年となつて、事業の膨脹と、物價の暴騰とは預算を七千五百圓とするの止むなき次第となりました、此の内四千五百圓也は西洋人部及び、海外にある英、米、豪州のホーリネス敎會の特志者が寄附せられましたが殘餘の參千圓也は日本人部の負擔と成つて居ました、私は元日以來、今年始めてこの爲めに祈りました、如何にして此の參千圓也を得るかと求めて居りましたが其方法が見當りませぬ、其内會頭の誠意を知つて、百圓、五十圓と特志の人々の寄附があり、又官よりの下賜金慈善團體の寄附等が有つて數百圓を數ふるに到りました、然し約束の金額には未だ程遠いことです、十月となりました、私は思ひ掛けなくこの數ケ月家居するの止むなき身となりました、熟々思ふにこの場合、こ

の境遇を利用して、何か慈愛館の負擔を全うする途なきかと、思はず之れを口にせし時、母が一言、全國の慈愛館日を造つてはと申して呉れました、私は妙案と手を打ちました、そして早速準備に取りかゝりました先づ全國の會員諸姉に慈愛館の現狀を報ずる爲め、小冊子五千部の印刷を始めとし、二百の教會に對しこの爲めに一回の日曜献金を乞ふの手紙、東京部會二百五十名、大阪の九百名、全國六十餘ケ處の支部會員二千餘名、本部常置員、青年部會員に到るまで悉く封筒に名宛てして送り出しました、これが爲めに要した費用は百五十餘圓、其爲めに用ひた日子は滿二週間、宮川二階堂の二姉は實務に當つて下さいました。名前人として理事長矢島楫、會計實務者守屋東の印を以つて送り出しましたが、お二人ともこの運動の間中、關西講演旅行中で、其責めは凡べて留守番のNOKが負ふ處です、若し何等かの御迷惑、御咎めが有りましたら、久布白宛に願ひ度いと思ひます、今日では早や收穫の時となり、日々諸兄姉の同情は、小爲替となり、振替となつて事務處に集まり、十二月の聲のかゝらぬ内、二百圓に近付いたとの報を得ました、實に感謝の到りです、期日迄には預定額に達するやう、全國の姉妹の祈を願ひます、今年は會頭も、最早や出す可き貯金を持つて居られませぬ、願くは我が國の不幸なる姉妹の爲めに全國三千の會員諸姉一人も殘らず助けの手を伸べて下さい、便宜の爲め、左のお三人に事務萬端を願ひました、どうぞ其お積りで御計らい願ひます。

□二階堂みよ子姉扱、東京部會、各教會、及び青年部

□宮川靜枝姉扱、各支部及び大阪委員及び會員

□千本木道子姉、現金保管人

お三人とも事務處にお宛て下さつて差しつかへ御座いませぬ。

以上慈愛館特別運動について大略皆様のお耳に入れます。

久布白落實

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

初旅の憶ひ出

西伯利視察員お伴の記

宮川静枝

十三日の朝十時頃、やゝもすればツルリと辷る道を危ぶみつゝ、やがて着いたのはセイトランスカヤ街の目貫の場所に、はためく日章旗をかざした宏壯な一構へである。此處に○將軍を訪れて私共は何よりもまづ、家族を離れ凡ての温い團欒や安らかな生活の幸福と便利を捨てゝ遠く出征されてゐる將軍に心よりの謝意を表さずにはゐられなかつた。ガランとした殺風景な室に、ゆつたりと腰打ちかけて靜かな聲で話さるゝ將軍の温顔には慈父の表情がある。多くの若い兵士等を統卒して異郷にある老將軍の髮は白く上品である。將軍は酒は嗜まれないとの事である。ほんとうに温い感じの人である。

日本軍の居る所では酒保が置かれてあつて、酒を供給してゐるけれ共、アメリカの軍隊では酒は凡て禁じられてゐるのであるから、日本の將官達が招かれた時にも、食卓には、酒の代りに美しい葡萄液などが出されるのである。けれ共こんな矛盾がある。朝鮮町での第一の客はアメリカの兵士である。彼等は日本の兵士に比して隨分多くの金を與へられ又吾兵士に比して遙に自由な時を多く與へられるのであるから、寂寞に堪へぬ人々は、今日あつて明日無き命といふ程に緊張もしてゐないのであるから渇けるまゝに濁れる水をも求めて行くのである。醜業者は上客であると喜ぶ。青年會は、彼等を防ぐ可く出來る限りの力を盡して、活動寫眞會や音樂會を催して慰安を與へやうと努めてゐる。アメリカの本國に在る母や姉妹が嫌まはしいあたりを徘徊してゐる彼等の哀れにもすさみ果てたる有様を見たならば、どんなに哀しみ嘆くことであら

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

う。人道の爲め正義の爲めといふ美くしも尊い理想を抱いて、涙ながらに送り出した彼等の爲めにどのやうに悲しい思ひをすることであらふ。それにしても私共は彼等によからざる機會を多く與へる多くの破廉恥な同胞のあることを思はねばならない。只金を得んとして自分の恥はおろか「日本人」全體に及ぼす不名譽も侮蔑も思はず、獣に劣る生活をしてゐる人々のある事を誠に殘念に思ふのである。

浦鹽の人口は平時十萬許りであつたのが、戰の爲めに避難民が廿萬人位入り込んでゐて、丁度私共行つた時は卅萬程の人口であつた、その中、吾が居留民が五千人位で、其中七八百より約千人即ち居留民の五分の位は、不幸なる婦人達である。

朝鮮町とセミノフスカヤに公然たるものがある以外に、宿屋の女中、料理屋の女中等も殆んど凡てが暗い日蔭の世渡りに身を汚し靈を疲らせてゐるのである。此種の婦人達は、皆若い人々であつて、此の浦鹽のみに限らず、殆んど全世界に、汚れたるものよ、嫌はしきものよとの嘲笑を受けつゝ、痛しくも哀れな血みどろの足跡を印してゐるのである。

○將軍からいゝ印象を受けた私は司令部の中で、出遇ふ人毎に對して自ら頭の下るのを感じた、そして心の中で「ほんとうに御苦勞樣でございます」と繰り返へしてゐた。此の司令部の內では廿一二の若い軍人が可なり見受けられた、何だか私の弟のやうな氣がしてなつかしいやうな哀れな思ひがした。

司令部の歸へりに浦鹽第一のデパートメントストーアを見やうと思つたけれ共、十一時少し過ぎたのでもう閉店してゐた。此店では九時に開いて十一時に閉め、午後は三時から六時頃迄開いてゐるとが聞いた。此店に限らず全體に勞働時間が少いやうである。晝の休みには勿論食事はするがロシヤ人の好きな茶を喫んだり、話したり、さては晝寢をしたりするのださうである。茶と談話と散歩とはロシヤ人の三道樂であるといふ。

午後は居留民の小學校で演說會が催されるので、晝

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

食は宿に歸らないで、青年會のWさんの毎日行かるゝレストランへ行く事になつた。中に入るとさすがに面白い。ある卓子に陣取ると、薄い絹靴下に華奢な踵の靴も輕やかに十五六のロシャ娘が白いエプロンを無造作にかけて御用をきゝに來る。笑顔を造るでもなく却つてさつぱりしてゐて感がよい。私は好奇の眼を瞠つた。主人夫婦は日本人でロシア娘や支那人のクックを使つてゐる。壁には幅一間もありそうな、馬鹿に大きな、そして馬鹿に拙い畫が飾りつけてある。室の向ふの隅には頭巾を被つた眼の大きい色の淺黑い女が一人、塔のやうに積み上げたパンやスープの鍋を控へて夢中に食べてゐる。其次の卓子には姉と弟らしい二人が親しさうに小聲で話してはほゝえみ交しながら食べてゐる。其次にはカナダの兵士が二人でロシャの女を伴れて來てゐる。眞中の列の一番奥には支那人が四五人トヽカタトヽカタしきりに饒舌つてゐる。其次には、年老いた兩親と廿二三のその娘さんが睦じく話しながら食事をしてゐる。此三人の落付た樣子は、家庭で食事をしてゐると同じやうである。此三人も矢張毎日此處に來て同じ卓子で食事をする人達である。三人は、各自の務へと朝各家を出る、晝になれば此處に寄合つてお晝を濟ませる。その簡單な要領を得た而も親しい生活を美しく思つた。其外ロシャ人の大男や赤十字社の人も見えた。此處で晝食する人々はお互に知り合つてゐて、卓子も自ら定つてゐるのださうである。

やがてナイフや肉叉が運ばれて大皿が二枚宛置かれ、高く積み上げたパンと、可なりな深鍋が置かれた。鍋には四人前のスープが入つてゐるのである。玉菜や大きな肉の塊がゴロ〳〵と四つ入つてゐて滋養分の豐からしいスープである。二枚の大皿を重ねてその中にスープを入れ、まづ汁を吸つてしまつたら下の大皿へ肉を移して藥味をつけて食べるのださうである。私は面白がつて其風變りな食べ方をしてみた、けれ共肉は固くてとても心配だから止してしまつた。食後にはコーヒーと菓子、成程ロシャでは砂糖が不足してゐるのだなあと思はれる程に糖分の足りないものであ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る。

間もなく私共四人と女子青年會の方とは迎へられたI氏の自働車に乘つて小學校へと向つた。

古い建物の小學校の講堂には、二百名許りの聽衆が集つた。浦鹽の紳士淑女の外には小學校の上級生が卅人位はゐたらう。もう始まりさうなものと思つてゐると、「只今一寸朝鮮町の連中を呼びに行つてまゐりますから少々おまち下さい」といふ有志家の聲がして、定刻が來ても始まらなかつた。其間如才ない、H女史とK女史はしきりに人々の中に交誼を造らうとして、一生懸命である。

やがて、I氏の司會で開會されて、講演者の丁重な紹介が濟むと、K女史とH女史の熱心な演說があつた。

私は、聽衆の左側に並んでゐる卅人の子供等の、如何にも弱々しい容子を視守つた。蒼い顏をして、元氣の無い、そして潑溂とした無邪氣さの見えぬ彼等の容子は、日光にもあたらず荒地にやつと芽を出してゐる若芽の傷ましさを思はせた。「心ある人々が、たとひ不經濟であり、又苦痛であつても、其愛兒等を內地で勉强させるやうにするのも道理だ」と思つた。つまり私の見た子供達は、兩親の膝許で、氣兼ねなく育つといふ事以外には、何れの方面から見ても不幸な環境の中に育つてゐるといふ事が言へやうと思ふ。彼等の家庭の多くは商家であつて、そんな家では極く狹い室等を借りて商ひをしてゐるのであるから、冬等は、二重窓で嚴重に締め切つた汚い空氣の中にゐるばかりでなく、夜彼等が寢む時來客などがあれば、室の隅に小さくなつて眠らなければならず、又、彼等が床の中にゐて、頭の空虛になつてゐる最も大切な時に耳にする事は借金の話だとか醜業婦の噂などであるから、彼等の頭は子供なりに知らず〱濁つてゆく。彼等は枕邊に母のなつかしいお伽噺を聞くでもなく、母の溫い祈りの聲にはぐくまれるのでもない。彼等が晝學校の往き歸へりなどに、町で彼等の眼に映ずるものゝ中には數多の醜業婦がある。未だ一體に道德觀念の低い居

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

留民の社會に、犠牲となつてゐるものは可憐な子供等である。彼等は隨つて性的方面に野育ちのまゝに早熟である。ある夫人が、子供等の行末を案じて小學校の卒業式の折に、「あなた方は日本國民として立派な人々になつて下さい、そうして今迄のある卒業生の眞似をしないで、偉い人になつて下さい」と訓された事もあつたさうである。けれ共、早熟な子供等の中には、僅か十三になる小娘で、只金儲けがしたいといふ一念で、浦鹽で商賣するのは面倒だからとて、ずつと內地のハバロスク迄逃げて行つて、其處で自ら不倫の道へと落ちて行つたといふ事もある。私は此話を聞いて身震ひした。恐ろしい事である。心も體もまだ幼い小娘の頭にも、金を得る爲めには身を賣るにしかずといふ汚い根性がダニのやうに喰ひ入つてゐるのである。

之は只一例に過ぎないけれ共、斯樣にして陰へ〳〵と成長してゆく者の多いのは事實であると思ふ。多くの淪落した婦人のある爲めに、眞面目な、心ある婦人達はどんなに苦しんでゐる事であらう。一般に道德觀念の低いといふロシヤ人にも侮まれ、支那人や朝鮮人にも嘲けられて、尙ほ私達日本人は文明の民と自尊し、大和民族のプライドを抱く勇氣があるだらうか。ある人が、ある朝鮮人に向つて「朝鮮人の醜業婦は一人も見ないやうですが、どういふ理由でせうか」と尋ねてみた事があつた。其人が稍しばらく默した後「私共の國は日本に合邦されて、私共としては、世界の表てに大なる恥を暴したのですから故國の婦人を外國に迄も連れて來て此上恥の上塗をするに忍びません」と言つたといふ事である。醜業婦にはロシヤ人もあり支那人もあるけれ共、日本人が最も多いのである。ほんとうに私共は考へねばならない。吾國の內には四萬の「公娼」といふ不幸な婦人があり、海外にも又無數の淪落の婦人達が狼の如き人間の爲めに其身と心を消滅しつゝあるのである。居留民界の道德律は極めて低級なものである、今にして殖民地の改革を圖らなければ、到底我が國民は健全な海外發展をする事が出來ない。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

吾が國民は、醒めて更に國民的人格の向上に努め、眞に、價値ある人類の健全な歩みで、堂々と世界の大道に濶歩するか、さもなくば、民族としての名譽も誇りも希望も理想も、凡てを其兩肩から振り落して、努力もなく進歩もなく、本能と衝動の動くがまゝに生活して男は暴力で女を從へ女は常に反抗や盲從で泰からぬ生活をするがよいのである。他の文明諸國が、男女共に提携して健かな足取りで進む時、跛けながらとぼ〱と不格恰な歩みをつゞけてゐるのは、例ふれば私達日本人ではないだらうか。

演説會が濟むと直に、N氏を訪れて色々詳しい土地の事情などを伺つた。それから又I氏の自働車で、私共三人と女子青年會の方々とN氏、I氏等は六時半から、總領事館の晩餐へと招かれて行つた、前夜領事館から電話がかゝつて「服裝はこちらは春廣にいたしますから」といふ事であつた。私は「春廣」といふ言葉に笑ひが湧いた。いつもに變つた氣分がして愉快に思つた「春廣」から湧く笑ひを乘せて、やがて私は領事館の二階の廣い食堂で、質素な、然しほんとうに感じのよいK氏夫妻を中心とした晩餐の仲間の一人になつた。辭して歸る九時半頃の町は、もはや人影もなく北極から吹き寄する冷氣と、薄氣味惡い聯想は私に何となく不安な氣持ちを抱かせた。

宿の門迄はI氏が自働車で送つて下さつた。門を入ると、材木の蔭からぬつくり立ちあがつたものがある、私は其時「出たなつ」と思つた。白晝大道の商店等にピストル强盗が入つたりする物騒な時だから、私は其怪しいものが現れた時驚いた、けれ共私が近いて眼を落ちつけて見た時、それが犬である事を知つた。實に大きい犬である。私は其時「犬も亦偉大なるかな」と感嘆したのである。

其夜、更け行く寒空に、巨人の唸りのやうな犬の聲が頑丈な石造の家から家へと反響してゐた。あのやうな、沈んだ、陰欝な犬の聲は今も忘れる事が出來ない。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

都を離れて

京阪神青年部訪問

青年部書記　大橋房子

『初めての公の旅だから……』と送つて下すつた老年の父の寂しい姿を朝のプラツトフオームに殘して、假令暫くの間でも凡ての拘束をのがれ得たつもりでゐた私が、何時の間にか汽車といふ大きな一勢力の中に、身も魂も攜にせられてゐるのに氣がつくと、思はずもこみ上る皮肉な微笑をぢつとかみこらえねばならなかつた。

『又汽車の中で本を讀んで行くだらう。』といふマヽサンの豫想を裏切つて、私は時々我ともなく編物の手をダランと落してしまふ程、ボンヤリ思ひに沈んで行つた。夢見る眼をさへぎつて、半ば下された日よけの下を、無數の緑と黄の直線が水平に走つて行く。十二時間の後には、二十四時間の後には？と、行く先にの自分を待ちうけてゐる樣々な目新らしい場面を想像すると、私の胸はたゞわけもなく騒ぎたつ。

十月卅日午後八時、黒い手下げ一つをぶら下げて打ち水の冷く光る京都驛の階段を下りて行つた私は、其處に思ひがけなくも見覺えのある女學生の笑顔を見つけて、淚ぐましい程嬉しくなつた。

『何誰でしたつけ？』

『太田……』

『さう〳〵、大會でお目にかゝりましたわね。』

『さうして其方の方は？』

『中村さん。』

私は初めて『赤ちやんの上衣を脱いで、大人らしく自分から其の場に合つた話題を提出せねばならなかつた。ゆつくり走る電車の中で、耳なれぬ京都女に時々目を見張りながら、つゝましげに腕を下してゐると、晝間からの疲れの爲か、氣がめいるやうにぢいんと沈んで行くのであつた。

闖入者の緊張した悦びに胸を躍らせながら閉め殘された同志社の門を通り抜けた時には、何だかメーテルリンクの劇を生きてゐるやうな氣がして、藤棚の下を忍び足で歩いてゆく私は、思はず聲をひそめずには居られなかつた。さう思つて見れば、切りぬいたやうに明るい窓を所々に浮べてゐる校舍の一つ〳〵が、神秘な傳說を覆ふお城のやうに見え、夜の闇にほの白く浮いてゐる無數のコスモスが不可解な謎の表象のやうにも思はれた。

デントンさんのお留守に入つて、與へられた客間に落着く。黒とダーク、グリーンを基調にした洋室がピッタリと私の氣分に合つて何だか長い事探し廻つてゐた自分の棲家を今初めて見つけ出したやうな氣がする。薄暗い電燈の下に黒い卓をかこんで、ずらりと並んだ役員の面々に對座した時には、孤獨の強さと寂しさとを痛感しないでは居られなかつた。殊に神代の女を想はせるやうに溫雅な、しかし偉大な土倉さんには少なからざる威壓を感じた。皆さんの包圍を解かれた私は、頭を洗つて頭をといて、大々

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

さした窓ぎはのダブル、ベッドにヤンワリと身を沈める。廣いヴエランダを漆黒に掩うてゐる藤の葉の間々には、雨をふくんだ白い花が覗いてゐた。

身仕度をして食堂に出て行くと、意外にもしとやかな日本の奥樣が一人卓について居る、物影から出て來たミス・デントンが黄色い聲をしぼつて、

『昨夜から探し廻つてゐた○さんにやつとめぐり逢つた。これは原田夫人で………』

と紹介して下さる。今日のバザーのお仕度の爲におそくなつて、昨夜は此處にお泊りになつたのだといふ。氣むつかしさうなミス、デントンの三角の眼が、何だか自分をながめてゐるやうに思はれて少し怖い。

靜かな部屋に獨り取り殘されて、遙に洩れて來る天長節の祝歌を聞くともなく聞きながらボンヤリ坐つてゐると、コツ〳〵とノックして見知らぬ眼鏡の令夫人然とした姿が眼の前に現れる。『青山出のS』と仰しやつたばかりで、張りつめた氣がホロ〳〵とくづほれて、私は十年の知己にめぐり逢つたやうな心持で母校やB先生、○先生の事を話しつゞける。しかしSさんが何處の奥さんでもない、此の學校の先生であるといふ事は、餘程後まで知らなかつた。

中村さんに案内せられて、Sさんの袖の後に隱れながら式場の一番前に引き出される。うすく〳〵聞き知つては居たものゝ、ぞく〳〵おしかけてくる男學生の群を見た時にはぞつとした。口をきくのゝきらひな私が自分と同年輩、或は自分より年上の男女を前に、初舞臺の講演をするなんて、よつぽど皮肉だと心では笑つてゐても、さて他人を見、自分を省ると、自分が今日かうして此處に居るといふ事が噓のやうに思はれて、私はワナ〳〵とうちふるへながら、夢見るやうな瞳を雨の日の屋外に向けてゐた。

＊　＊　＊　＊

『あの、水をお飲みになつた時には「もういやになつたからやめます」と云つて下りて來ておしまひになるかと思ふ程たまらなさうでしたが、でもよくおしまひまでおつゞけになつたわね。』

Sさんにいたはるやうに云はれて私は赤面した。どうにかかうにか云ふだけの事は云つてしまつたものゝ、さて我に歸つてみると息苦しい程恥しくなつて、名刺をさし出した大阪毎日の記者に面を背向けたまゝ逃げるやうに人の眼をさけて外に出た。

『バザーを御覽になりませんか。ライスカレーやコーヒーの店もございますよ。』

と云はれても、袖を振り拂つてあの物寂しいデントンさんの家に逃げ込み度かつたのだけれどこんな時に我慢が出來ないでどうなるものかと自分を叱しながらSさんの後についてバザーを見物した。しかし興奮しきつた私の口には湯氣立つコーヒーもたゞにがかつた熱いライスカレーもなか〳〵喉に通らなかつた。

十一月一日、朝の禮拜に短いスピーチをさせられ、十時から英文科生の後に坐つて、厨川さんの英文學を聞く。朝日の北米印象記で見た白村氏は、堂々とした紳士だつたのに――事の意外に打たれた私は、昨日からの假面をすつぽり剝いでしまつたやうに、學生時代の素目に

還つて、いたづらなスケッチに獨りで打ち興じてゐた。午後からは思ひがけなくも皆さんのお供をして、初めてシヨルツさんのピアノを聽く。京都に來てシヨルツさんを珍しがるなんて私もよつぽど變調に出來上つてゐるのだと、今更のやうに目を丸くしてみる。

六時二十三分土倉さんと中村さんと藤井さんに送られて神戸に向ふ。僅か一度來たばかりだつたのに、神戸はやはり此の前と同じ神戸だつた。見る物毎に過ぎし春の日の思ひ出を呼び起しつゝ、車屋にカバンを持たして夜の闇に白く浮出た。神戸女學院の坂途を登る。皆さんの笑顔にとりまかれながら、家庭館の廣間で同志社の人達の燒いたカステラを切る。

せはしたかつた一日の行程を思ひながら、久しぶりで日本の寢床に横ると何だか妙に頭が澄んできて、なかなか眠につかれない。ガラスで切つた欄間に冷い星が光つてゐた。凝視めてゐるとそれが二つに分れて並行に走り出す。それからそれへとたぐり出される幻想を追ひ拂ふやうに、私は強く頭を振つてみた。さみしいだらうと泊りに來て下すつた知ちやんとイダさんの寢息が靜かに生ぬるい室内の空氣をふるはしてゐた。

朝飯もそこそこに六時四十何分着の矢島會頭と守屋さんをお迎へに三の宮のステーションに行つてみると、列車はいくつ目の前にズーッと止つても、なつかしい方々の笑顔を見出す事が出來なかつた。どうしたのだらう何の間違ひだらうと、冷い朝のプラットフオームを彼方此方と走り廻つてゐる所へ、『もうお着きになりました。神戸驛から車で。』との知らせが來る。何だか皆氣拔けがしてボンヤリしてしまつた。

終夜眠ずに汽車に搖られていらつしやつたお二人の寢てゐらつしやる間に、私は一人聖日の朝を守るべく、白い石地の坂路をハアハアあへぎながら登つて行つた。『目の中に入つちまひさうな教會』と道を教へてくれた人は云つたけれど、私は雄々しい戰士のやうな賀川氏の聲に反撥する氣もちのいい教會の中にある強い力の漲つてゐるのを見た。

『よく來ましね。お晝つからわしんとこにいらつしやい。貧民窟を見せてあげる。しかし來るならそんな羽織は脫いで來なけりや……』

と云はれて赤面する。

守屋さんも是非行き度いと仰しやるので、少年禁酒軍の集りがすんだらすぐ出かけるつもりで正直に羽織まで脫いで、出たのだけれど意外に盛んだつた發會式がつい長引いたので、記念の映寫を終つた時には、肌冷えのする夕もやの中に薄着の肩をすぼめながら、羽織を取りに驅け込んでその足ですぐミス デ、フオレストのお茶に行かねばならなかつた。夕飯後やさしい心の愛ちやん達が九時廿分の汽車で立つ先生と守屋さんをマッサージして居る傍で、たゞ譯もなく思ひに沈む。數日來張りつめてゐた氣がお二人にめぐり逢つて以來急にとけた爲めか、いくら引きしめようとしても疲れきつた心がダランとたれてしまふ。九州まで一所に行かないかと守屋さんに幾度も勸められたけれどかうした生活がこれ以上續いたら倒れてしまひますからと逃げてしまつた。

姉さんのやうなイダサンのお世話に思はずも

心を許して、久しぶりで熟睡する。三日の朝入時半、なつかしみの深いミス、デフオレストに導れて、氣持のいいチヤペルの階段を上る大會の時幾度となく出入したせいか、京都で初舞臺を切つてきた爲か、自分でも吃驚する程落着いて話す事が出來た。裏手の應接室で木村教頭にお目にかゝる。垢ぬけのした學者風の氣もちのいい紳士だと思つた。御專門の生物學と人生問題、宗教問題との關係と云つたやうな面白い話題に、私は初見の方だといふ事も、車屋の待つてゐる事もすつかり忘れて眼を輝す。

一時間半の後には私は大阪婦人ホームの一隅に、人に蒸されて坐つてゐた。數へきれない程の祝辭が終つて思はずもホツとすると、式場は蜂の巣のやうにざわめき出して、私は身の置き場に困つてしまふ。

『知事さんは何處に？　三階にお辨が………』

といふ林さんの鋭い聲が私の視線を吸ふ。

『ボンヤリしては居られない。』

と氣がついて、紫の羽織を召した令孃の一かたまりに

『青年部の方々は？』

と訊れる。唐人髷の篠井さんや、紋付に丸帶の中村先生を見つける。

『御洋裝だらうといふ御話しなので、うつと年をお取りなつた洋服の方ばかりを探して居りました。』

しなく／＼と大きな髷を重さうに細い首を振りながら、律子さんは大坂言葉でいふ。

『渡邊さんを私だとお思ひになりはしませんでしたか？』

私はクス／＼笑ふ。婦人之友が方々で祟る。

赤の御飯のお辨を食べ終るとすぐ、三階の一室で來たゞけのYの方々としんみりした集りをする。消息の打ち絶えた大坂に、こんな有力な、熱心な會員の方々がお出でになるとは夢にも思はなかつた。

人々が散じはてゝ廣い川添の街路の向ふに燈火がゆらぎ初めると、例の彷徨癖がムラ／＼と頭をもち上る。私は篠井さんに連れ　れて中之島公園をぬけてみた。

『何ですか、私、此處に來るとヴエニスの夕というやうな氣持がいたします。』

柔い調子で篠井さんが囁く。大きな眼を上げやうとして面はゆげにふるへるまぶたを伏せてしまふ物靜かな大坂娘の唇から、ヴエニスといふ發音の洩れたのが不思議でならなかつた。そしてそれが又しつくりとその時の氣分に合つてゐて嬉しかつた。

夕闇にクッキリ白く浮んだ下ぶくれの小さい顏を何時までも見失ふまいと首を伸しながら私は乘りなれぬ電車に運れて、また殺氣立つたホームに歸つた。お年寄り連の間に小さくなつて夕食をしてゐる間に私はすつかり赤ん坊になつて――されてしまつた。

『ほんとにおいしうございました。お晝には胸が一杯で何が何やら味も分りまへんでしたが――』

林さんは心から嬉しさうに涙を拭ひながら、忙しげに又お出ましになる。動くのがいやになつたといふ中村さんを中心に、錦織夫人と私とがおそくまで食堂に居殘つて語りつゞけてゐた。談偶々お花さんの噂から結婚問題に移つて

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

飛んだお說教を聞かされる。

『ぢやア、私が少し結婚したら、中村さんは何を祝つて下さるの？』

『それこそ滿腔の悅びを……』

『たゞそれだけ？』

『え〻？』

『誰と結婚しても？』

かう鋭く皮肉に云ひながら私は電氣に顔を反向けて、笑つた顔を見られまいとする。

睡る前に又錦織さんと廊下で立話しする。

『ほんとにあなたのやうな人こそ、しつかり勉强して下さいよ』

『え〻でも結婚すると何にも出來ないことよ』

『さうなの、私なんてあの子が大きくなつてくれるまでは何にも出來やしないわ。』

『そいでも結婚しなきやいけないの？』

云ふが早いか私はクツクと笑つて逃げ出す。錦織さんは口惜しがつて追ひかけて來る。見事に復讐してやつたと思ふと痛快でたまらない。雨の音に昨日の天候を氣づかひながら、他人の家に忍び込んだやうな心持で、出來上つたばかりの客室に横たはる。

四日、朝飯をしまふとすぐに雨の大阪を車で縫つて、梅田のステーションに行く。白い手が口の邊りに閃いたと思つたら、薄暗い婦人待合室の前に足駄にコート姿の篠井さんが立つてゐた。五年程前に大阪に遊びに來た時には、梅田の停車場が馬鹿にいかめしく見えたのに、今入つて見るとずゐぶんせゝこましくてきたない。二人はザワめく人々を餘所にシンミリ語り合ふ。一晝夜に足りぬ逗留の中に消えやらぬ印象の數々を刻み込まれた大阪の地を離れる時、私はほんとに戀しくてたまらなくなつた。靜かに動き初めた列車を追うて、あの白い手を口のあたりにもつて行きながらしなく〳〵する細い體軀を心持はづませるやうに五六歩走つてきた篠井さんの姿が何時までも目を離れなかつた。

雨にうなだれたコスモスをぬけて、私は再び同志社に運び込まれる。自分の家にたどり着いたやうな氣持で、ヴエランダにかこまれた靜かな「暗綠の城」に入ると、私はどうする事も出來なくなつて、ひろ〴〵とした厚いベツトにもぐり込んでしまつた。足音に飛び起きてヴエランダに出て見ると、三つ四つの蛇の目が此方を向いてゐる。

『有島さんの講演にいらしやいませんか。』

『これからですの？今お目にか〻らないで歸つてはがきを書いた所でしたの。』

『少し早く行きませんと、席がなくなりますから。』

『え〻今直ぐにまゐります。』

私はギリ〳〵と眼を眩ますやうな午睡後の頭痛も忘れたやうに、いそ〳〵と青葉に傘をすりつけながら、デントンさんの家を出た。

その夜私は薄暗いデントン館のパラーで、二三十人の若い青年部の方々の好意に滿ちた笑顔に取りまかれながら、親しく話したり歌つたりして樂しいお別れの夜を過した。例の惡癖で記念の署名をしたりいたづら書きをしたりしてゐる中に、一人去り二人去りしてとう〳〵私は蒼白い日のさし込むヴエランダに取り殘されたやうに佇みながら、次第々々死んでゆく足音に耳を澄ましてゐた。四邊が全く夜の靜寂に還つても、私は室内にもどる氣になれなかつた。追憶の淡い寂しさ、別離の甘い悲しみに、私は古風なヴエランダの欄干に腰かけたま〻、いつまでも〳〵月を凝視めてゐた。

と月陰の强い黑さがカサ〳〵とゆれて、

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

まだ出て居らつしやろわ。』

とさゝめく聲がした。キツと見張つた眼の前の芝生に、夢幻劇にでも出てきさうなダンシングポーズを見せて、黒い四つの影が浮いてきた。

『何誰？』

『あたし……梅ちやん……も一度お顔を見に來たの。』

『少しお庭を歩きませうか？』

『えゝうれしい！』

と四方から階段を下りて行く私にすがりつく。

『叱れやしないの？』

『大丈夫。』

夜の闇に羞しさを少しづゝ剝ぎ取られて、私は感傷的な少女等のいゝお相手になつてゐた。

私はミステリアスなお城の間をゾク〱顫へながら忍び足に歩いて行つた。折々電車の軋りが闇を裂く。

『コスモスがほんとに奇麗れ。』

『押し花にしてあげませうか。』

『えゝ、ありがたう。』

『明日花を澤山取らして下されば、花環を造つて上げるんだけど……』

私は無邪氣な少女達の温い心をすげなく退ける事が出來なかつた。

翌日朝早く私は校門の所まで數人の方々に送られて忘れられぬ樂しい羞しい又なつかしい記臆を胸に秘めながら、住みなれたホームを後にするやうな氣持で同志社を出た。見送る人々の視線の外に出ると、何だか急に自由になりたいやうな氣がして、私は暫くの間放心したやうに力なく電車にゆられてゐた。

此の間Sさんと四條を歩いた時眼にとまつた籠を目あてに劇場前の汁六の暖簾をくゞる。重い荷物に惱されながら、ブラ〱と四條の大橋にさしかゝつた時、黒いマントの青年が勢よく橋の向ふから歩いて來るのに氣がついてはゐたが、ふと目をそらして欄干の隙間から淡い朝霧を浮べてゐる加茂川の水を凝視めながら、『夏の夕涼み』を夢見初ると、私はもう何もかも忘れてしまつた。

朝の特急はかなり混んでゐた。列車の一隅に深く腰を下した私は、手にした荷物を開ける事も出來ぬ程まざ〱躍り出て來る追憶の破片を拾ふに忙しかつた。ボンヤリ凝視めてゐると、色々な雲を浮べた天と、濃淡の緑に塗りつぶされた地とが、巨大な動物の背のやうにうね〱した山頂の曲線を軸にして、ギリ〱とねぢれて行くやうな氣がした。

＝一九一九、一一、一六、夜＝

（大正八年十月卅日より同十一月五日に至る一週間の關西旅行の思出）

□□編輯室から□□　エー、エム、

□丁度十月廿九日新宿を出た私共は十一月の廿八日の夜の十二時に新町の本部に歸りました、長い旅でした八十七の老會頭何等のお障りもなく凱歌をあげて歸京。

□旅をすれば家の方がお留守になります、十二月の編輯が急はしい間にしなければならないやうな苦しさは全く御同情下さる通りです、でも人手の少ない間はやむを得ない事でせう。

□留守中久布白幹事は二階堂宮川の兩姉を相手として、慈愛館の募金運動をなさつて下さいました、全國の教會と全國の會員三千に一々手紙を送つて下さいました。

□日々本部に來る手紙の内慈愛館寄附のものが多數あります、教會と東京部會の會員のものは二階堂姉、各支部よりのものは宮川姉が取扱ふて居られます。

□私は封筒の上に歴々と名を記されて居りますが全く直接事務は前記の兩姉です其勞は兩姉にある事を御承知下さいませ、何しろ留守中久布白姉の御盡力によつて實行された事ですから。

□青年部長がガントレツト姉の代理として初めて一人旅された事ですから青年部書記大橋房子姉の京坂神訪向の記事は、諸姉の興味を持たれるものと思ます、視された働人が與へられた事をよろこぶと共に一人も多く欲しい時です。

□大阪支部の會館落成しました、今三萬圓の矯風會館は日本の本部すら有して居りません大阪支部の林さんを初め支部會員の御滿足と感謝とは如何でせう。

正月號に會頭の信州より九州中國への旅行記を掲載いたします、會員の御投稿を歡迎いたします締切は廿五日です。

□□九州部會の大會の決議□□

第六回九州部會大會は十一月四日一五日の兩日、福岡支部主催にて福岡市メソチスト教會堂に於て開催、出席代員數は二十四名、九州に處在の十ヶの支部中八ヶ處より來會、本部より矢島會頭及守屋少年部長出席、提出議題は十八、特に此大會に於て注意され、興味を以て熱心に論議し可決したものは

一、部會費を拾錢とする事、

二、九州部會に專任幹事を派遣せらるゝやう本部に請願する事、

三、國民保健に關する懸賞文募集の件、

此外十五の議題は教育、風俗、法律等に關するものでした、然し何れも其支部〳〵が實行すればよい事であつたので取り上げて論議もなくすみました、

第一の問題は諸物價が暴騰して居る際故との理由の下に可決されました、

第二は重大問題として二日間に亘つて論議されました、

其結果は、先九州にある各支部が一ヶ月共力して參拾圓づゝを募金し

（一）本部會計に指定寄附（九州部會專任幹事の俸給の一部とする事、

（二）本部に請願して適當な人物を推薦してもらふ事、

（三）適任者の有無に不拘大正九年正月より本部へ月額三十圓寄附する事

（四）各支部（九州部會の）の代員は歸つて其支部の臨時總會を開き部會の決議を傳へ其支部の負擔額を決定する事、

（五）專任幹事の在住處は不定、

斯う書いてしまへばそれぎりのやうですが、此處迄の間に各支部の代員は、早天祈禱會を開いて祈、縱橫に論議して隔意なく信ずる處を主張して、遂に決した處が右の次第です兎に角、我國六十有余の支部の內、九州は決策して部會を設け、既に六ヶ年に達したのです、今此問題が斯くの如くに至つたのも大きな自己教育の賜であると思ます、人なき時、唯が九州部會の專任幹事として、選に上げらるゝか、全く未知數です、而し　必ず其人は與へらるゝ信仰を

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

持つてゐます、
第三の議題は門司支部の出題でした、支部長宮崎夫人は周到なる議題の說明書を携へられました、そしてそれを朗讀されました、議題提出法としても立派な形式です、且、其趣意に至つては僅少の隙もありません御一讀下さいませ。

國民の保健及び性に關する懸賞文募集の件

一　趣意

矯風會の趣意は國民の弊風、陋習を矯正し、善良にして且つ健全なる國民を造らんとするにあることは今更申す迄もございません、國民の健康を害し、良心を痲痺せしめ、墮落淫靡の風を助長せしむる弊風陋習は公娼私娼醜業婦飲酒等より甚しきものはありますまい、殊に海外醜業婦に至つては、品位を失墜し國運を阻害すること少なからざる有樣であります、それですから此等酒色を一掃することが出來れば、國民の保健率を增進する上に効果の顯著なるものあるは疑はざる所であります。

然らばかゝる弊風陋習を一掃するには如何なる方法ありやといふに、此は固より一朝一夕にして成就せらるべきものではございません。須らく長日月を期して根本的に改造する事を期せねばなりません、其方法必ずしも一二に止まらないと存じますけれど、その一は靑年男女學生に之が國民の健康を害し、精神を墮落し墮弱に流れしめ、道德心を遲鈍ならしめ、國家の元氣を銷沈せしむるものなる事を深く考へしむる事であります、彼等が長じて家庭に於ては主婦となり、社會に出でゝは公人として大に活動する場合に及んで、根本的に矯正革新する事、恰も最近の米國が擧國禁酒を斷行するに至つたるは、過去數十年に亘つて少年子女に酒害の恐るべきを深く考へしめたる結果と同じ結果を見るに至るやう現時に於て、その素養に盡力することが大切であらうと思ひます。それに就ては懸賞金をかけて文章を募るのが最も有効であります、先般本部も爰に見る所があつて懸賞文を募集されましたが、それと略同じ事を九州部會でも實行したいと云ふのです

二　理由

既に本部に於て實行せしものを重

ねて九州部會に於て行はんとするには、それ相應の理由がございます。

第一、本部の懸賞文は日本全國の學生、而も大學生迄も含んでゐましたそれですから九州の學生、殊に中學生とか女學生とかいふ程度の學生達は余り之に注意しなかつたやうです、本來此の趣意は青年男女學生の注意を喚起せしむるにあるので、必らずしも文章そのものにのみ重きをおくのではございませんから、九州部會は、九州に在學中の中學生及び女學生より文章を募集する事とし、彼等がかゝる問題に深く注意するやうに致したいのです。

第二、醜業婦の居ない府縣はございますまいけれ共、海外にまで出稼する醜業婦は、島原、天草の者の最も多いと云ふ事です。此のために本部は最近態々人を派して調査研究せられた位です、九州部會としてもいつ迄もこれを看過する譯に參りますまい、就ては九州の青年男女をして之が弊害の如何に多大なるかを考へしめ、且つその救濟策を案出せしむる爲めに懸賞文を募集するは適當と思はれます。

第三、方法

(一)懸賞文章募集委員を擧ぐる事、委員は懸賞文募集に關する事務を取扱ふ、その事務の中には左の諸項を含むと思ひます。

(イ)懸賞文の題を定むる事、(ロ)賞金額を定むる事、その等級を定むる事(ハ)男女學生に同一の題を課すべきか又は區別するを可とするかその調査決定する事、(ニ)審査員を推選依賴する事、(ホ)當選文は適當なる方法を以て之を世に發表する事等であります。

(二)懸賞金據出の方法、懸金の一部分は各支部で分擔し他は特志者の寄附による事、寄附金も出來るならば各地の支部に於て募集せられたきものであります。けれ共必らずしも各支部で劃一的に同じやうな寄附募集をするといふわけではございません、賞金の都合が出來ましたら、每年一回宛文章を募りたいものです。當撰者は各學校の卒業式擧行前に發表するやうに致したいものです

三、九州各縣の中學校、女學校の當局者の協贊同意を得る事。

四、九州各地の新聞社の後援も得た

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

きものであります。
右大要を返べました、どうか部會員皆様の御同意を得まして。此を實行するやうに願いたいものでございます。甚だ不充分な說明でございまして、或は御諒解を得がたい所もありますか存じませんが、どうかその趣意精神の存する所を御贊成下さるやう願ひます。

門司基督敎婦人矯風會支部

說明に閉口致し候

在米　小橋三四子

この度の外遊に就ては厚き御配慮頂き、殊に出立の際は御老體をもいとはせられずわざ〱御見立て下され候段御禮の申しやうも無之候、御かげ様にて海に陸に恙なく九月十日紐育に著し候てより早くも一ヶ月を過し候

戰後の米國は秩序の亂れ居る感なきにしもあらず候が、何處に參り候ても酒の香のなき事は眞に愉快に候私の近くの簡易食堂と申すやうな處には、コロンビヤの學生等が多數參り候が何れも一皿二皿の品を水或はコーヒーにて行儀正しく食べてゐる有樣を見る時、社會的の良風に守られつゝある彼等の母のよろこびを羨まずにはゐられず候、然し煙草はまた盛んにのまれて居り、婦人迄が家にあればすふ人が少なからぬ由に候、私が記者といふところより社會上の質問をする人多く候が、一番多く尋ねらるゝのは、「日本の上流社會は腐敗してゐるといふではありませんか」と申す事に候、私は米國を見て、日本のみが決して獨り腐敗してゐるとは思へず米國の半面は毒々しき、或は日本よりも甚だしき淫風の漲るを覺えながら、何故日本のみが左樣に道德律の低きやう考へられて居るかを思ひ候時、直に公娼と妾の制度に思ひ及び申候。かういう事が日本を無遠慮に世界に腐敗の品と紹介いたし居る事を思ひ、どうかして貴會の運動の早く成功いたすやうにと祈り申候、現に私が船にて渡米いたす際ボーイ連の素人芝居これあり候がその引幕に「橫濱遊廓內より」として女の名を連ねて「何々丸御連中に」と贈呈の文句を大きく記してあり候、傍らにありしカナダの監督の夫人があの文字は何といふ字かと私に尋ね、說明に閉口いたし候、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

私は早速その翌日事務長を訪ねて引幕を新調するにはいくら位かゝるかを尋ね候處卅圓と申候　間もしも私が三十圓を調へたならばあの引幕を取り換へて下さるかと申し候處「無論」と申され候、そこで直ちに有志を說き二日の中に卅圓をとゝのへて事務長に渡し候、いと小さき事ながら、船は世界の人を乘せて往來するもの故、遊廓の廣告をするは忍びがたき事に候、一步母國を踏み出せば嘗て覺えぬ程の愛國の念湧きいで、いかにせば我が日本を世界の舞臺に堂々と步ませ得るかをのみ明け暮れ考へられ申候

私は今、英語英文の個人教授を受け居り候、來學期よりコロンビヤに籍を置き、視察かたがた勉强いたすつもりに候。

御身御大切に久布白様守屋様にくれぐれもよろしく御傳へ願上候

活氣に滿つ大阪支部

一、第二回社會講演會＝十月九日午後七時より西區立賣堀第一高等小學校に於て開く、釘宮夫人司會の下に姉川鶯聲姉のピヤノ獨奏あり、同校長の挨拶、林支部長並に川口教會牧師名出保太郎氏の講話あり會衆八百。

一、第三回社會講演會＝十月廿三日午後七時より南區御津小學校に開會、藤本夫人司會の下に岡島千代子姉の奏樂錦織貞夫氏の獨唱、同校長の挨拶、大阪教會日曜學校長小泉澄氏並に林支部長の講話あり會衆約一千名。

一、秋季祈禱會＝十月廿五日午後二時より婦人ホーム新館に於て祈禱會を開く、河邊柳子姉の司會數名の祈禱あり、來會者　四十名。

一、婦人ホーム落成式並に大阪支部創立滿二十年祝賀會過去三年間祈りに祈りし婦人ホームは愈々新築落成して十一月三日舊天長の佳辰をトして落成式を擧行す、順序左の如し、

奏樂	稻垣安子
聖歌　三七三	會衆一同
聖書朗讀	釘宮壽賀子
祈禱	河邊柳子
開會の辭	司會者
改築報告	中村久榮子
大阪支部滿二十年回顧	林歌子
改築工事關係者へ挨拶	

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

演説　湯淺豊太郎君
献堂の歌　青年部有志
祝辭　大阪府知事　林市藏閣下
大阪市長　池上四郎閣下、
大阪商業會議所會頭　山岡順太郎君
慈惠同盟會々長　岡島伊八君
日本婦風會々頭代理　大久保音羽子
謝辭　大阪支部會員總代　名出昱子
頌榮　四六二　會衆一同
祝禱　名出牧師
挨拶　ホーム新主任　菊地志奈子

當日は市内各新聞記者、各教會牧師其他來會者三百名、

因に當建物は費用三萬圓を投ぜしものにて洋風三階建にて下は婦人ホーム事務所、二階は矯風會事務所、三階は一般寄宿生を收容する樣なり居れり。

一、記念バザー＝十一月七日八日の兩日新舘に於て記念バザーを行ふ、

一、ガンデア博士講演會＝當支部にては來阪中の同博士を聘し十一月十七日午前は大阪女子師範學校に於て一場の講話を願ひ午後は高等商業學校に於て六百の男生に講話を願ひ直ちに高等工業學校に趣き三百の男生に禁酒の講話を願ひ、翌十八日は大阪醫科大學に於て同じく講話を願ひたり。（通信書記報）

斷つても〳〵

守屋東

九州部會に出席する事が知れて、其途中の各支部、又は他の團體から好い次手だからぜひ立ち寄つて欲しいといふ手紙を數通受けました、而しすでに三週間の旅行順序を發表した後なので殘念ながらお斷りしました、其お斷りした中に佐世保市のミセス、ケンブリッヂといふ方がありまして、熱心に來訪を求めた手紙を三通手にしましたが、如何しても日の都合が出來ないのでお斷りしました、通信實務の宮川女史宛にも手紙が來たそうです、そして來訪の如何を電報で知らせて欲しいといふ事でした、私はユクコトデキズザンネンとして下さいと宮川女史に依頼して出發しました、其後順々に各地を廻ぐつて福岡に達しました時、四通の手紙がケンブリッヂ夫人から來てゐました、長崎から來られた奥夫人もケンブリッヂ夫人からの依頼狀を持參され、鹿兒島支部の方も同じものを持參して私に渡されました、都合六通受けました情に於ては手紙を手にするごと「參上」と返事を出したく思ます、が、考へれば老會頭の旅行としては隨分切りつめた時間割を作つて各支部に御滿足を與へたいと考へたのですから一方の情は此乞を受け入れる時が見出し得ないのです。ずゐ分私も苦しみました處が四日滯在中にまた一通實に涙を以て祈り求めて認められたとより思はれぬ親切な、密な招き狀を手にしました、丁度會議の最中でした、然し私はすぐに讀んで、おぼえず涙をくみました、かくまで吾等一行を待ち望む人々に對しては身に障つても行かなければならないと信じました、七通目の手紙で私の心は動かされました、堅い〳〵月は開かれました、そして老會頭矢島先生に「先生長崎で一日丈休む時がとつてありますが、其時を佐世保にあけたいのです、先生お障りになろかもしれませんがー」と申しました、先生は「勿論行きますよー」解決しました、早速手紙認めてお伺ひする事を申てあげました、佐世保に行くまでに此後猶三通の手紙を得ました、勿論喜びに滿ちた感謝の手紙、待つ、手紙でした、長崎で二日間に七回の集會をして次の早朝佐世保に向ひ十時何分に着午前一回、午後一回夜一回の集會をして其夜十二時何分の汽車で佐世保を出發して廣島に向ひました、此還三日半に十回の集會をしたのです、然し身をも痛めず主義の爲、神の愛に動まされて戰ひ得ました。

斷つても〳〵招いて下さつた佐世保のケンブリッヂ夫人を初め教會の教師會員に今は感謝を捧げて居ります、前後私が手にした手紙丈でも十四通に達しました、斷つてから七通目に動かされ其後四通を手にしたわけです、

斯くして佐世保支部は誕生しました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

各地通信

本部

常置員會

十一月三日本部會館に於て開會出席者、小崎千代、ガントレット恒子、村岡花子、淺田みか子、千本木みち子、宮川靜枝子、二階堂みよ子、二宮わか子、久布白落實、板倉梅子。

前回記錄朗讀の後報告に入る。

一、上州部會報告、　ガントレット恒子

一、石岡（水戶の近く）、　同

相談事項、

一、來年度の大會につきて、　藤井姉

橫濱引き受けの事、橫濱支部長二宮わか子姉出席、費用其他につきて談合す。

一、拾一月の特別運動につきて。

慈愛館の爲に全國にある敎會及會員に宛て依賴狀を出す事。

一、經常費不足につきて、　淺田、千本木姉

一、職員待遇方法につき、　同

一、南米に於ける日本人後援につきて、

慈愛館

永島姉

十月廿九日午前十時—十二時

同　午後二時—四時、

の二回に亘り慈愛館の衛生館奉堂式擧行と共に救靈會をなす、中田重治氏及ウヰルクス氏指導す、慈愛館の役員を初め內外の紳士淑女及館の娘等出席す。

支部

富山支部

十月廿七日午後一時半日本基督敎會に例會を開く。出席者十二名。

白石師司會にて禮拜、各部報告、風俗部は五錢袋六十六を部長を通じて本部へ送れり。傳道部は去る十三日祈禱會を開けり。次に議事に移る

一、次回祈禱會に役員各自不用品を持ち寄り簡單なるバザーを開く事に決す。

二、文書部設置の事に決し、部長原米子師副部長持川寅子姉に依賴す。

三、懸賞文學會の件、文書部へ一任する事。

右の外次回の祈禱會例會に就て決議する事ありたり。名譽會員中村姉より本會の使命につきて有益なる訓話ありき。三時半散會、新入者二名。

十一月廿七日午後一時半メソヂスト敎會にて例會を開く。出席者十四名、禮拜の後前回記錄朗讀あり。次に

一、慈愛館の爲めの寄附金の件、

二、懸賞文學會の件、

三、前回祈禱會の模樣、

四、靴足袋取次の件、等の報告あり。次で左の諸題につき審議決定せり。

一、バザーは年末に際し一同多忙にて實行し難ければ、來年迄延期する事。

二、每月一回の祈禱會は會員に差支へ多く出席者少なければ、寧ろ之を廢し、每月一回各敎會にて禁酒のため祈禱を乞ひては如何との提議あり來月の祈禱會迄保留する事となれり。

三、交際部々長野本姉已むなき事情にて、副部長たる事を希望さるゝにより、部長に川村姉を推す事。

四、傳道師副部長中西姉上京さるゝにつき、後任者の人撰を同姉に一任する事。

此日、月所名譽會員の酒害に關する講話あり讚美祈禱、主のいのりを以て三時半閉會す。

櫛田千代子報

大牟田支部

十一月八日、敬愛しまつる矢島會頭並に守屋少年部長御來車下され鈍りがちなる會員の心に勵ましを與へ力を加へ又一般の人々に矯風

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

會の何ものなるかを詳かに教へられしは此上なき喜ばしき事なりき。

八日午後二時半より江藤姉司會の下に婦人會開催。會頭は時勢に伴ふ婦人の立場に就て最も適切に話され、守屋女史は矯風會に就ての説明、特に法律部、家庭部、傳道部につき懇切なる話をされ大に教へられ、又吾等の固き決心を促されたり。守屋女史の祈を以て四時閉會、尚ほ雨天にかゝはらず八十餘名の出席ありき。

午後七時半より桐山支部長の司會にて公開講演會開催、會頭は勞働問題喧しき、現今取るべき諸方法につき話さる。守屋女史は海外醜業婦視察報告談及び防止の必要につき一時間餘に亘る講演をさる。語る人も聽く人も共に熱心面に溢れ、緊張せるものありき、それにつけても我等會員の大なる使命を感ず。司會者の祈を以て閉會。百卅六名出席。

九日午前十時より三井鑛山株式會社倶樂部に於て社員夫人方の集催さる。今や一般婦人が心靈的に生きん事を求めつゝある折から二女史の適切なる御話は多大の感激を與へぬ。

凡ての集會の上に神の恵豐かなりしを感謝す。

桐山森恵子報

神戸支部

六月二十五日地久節祝會を催す。須磨幼稚園の和久山女史の有益なる講話ありき。出席者五十餘名。

七月二日家庭塾に於て渡邊常子女史の歡迎會を催せり。女史は發熱の爲めに御出席叶はず、閉會後二老姉見舞はれたり。

七月廿二日例會開催、家庭部と教育に就て、青木先生の有益なる講話ありき。

九月廿九日例會開催、禁酒に就て村松吉太郎氏の講演ありて一同大に激勵されたり。

當支部社會部の働の一なる女子家庭塾は渡邊師の御不在中數名の姉妹の御苦心によりて維持されたり。塾母も塾長もなく塾生は八九名常に寄宿さる。渡邊姉は在米中有志に訴へて塾のため金壹千圓を募金されたれば此際塾の發展のため如何にすべきやを思ひ委員會を數回開きしも未だ具體的に決せず諸姉の御援助を祈る。

十一月二日神戸少年禁酒軍の發會式を女學院に催せり。本部より矢島、守屋、大橋三姉の御出席ありたり。

坂部靜子報

水戸支部

十一月十八日泉町教會にて例會開催、禮拜と共に事務を終り寛きたる席を造り折よく青年部のため御出水中なりし大橋姉の有益なるお話を承りたり。

續いて會長の發議にて日本人が洋服を用ふる一得一失などに就て話合ふなど有益にして面白かりき。會長は靴下をよく用ふる秘訣を教へられ一同感謝せり、雨風にかゝはらず十四名の出席ありき。

平川梅子報

長崎支部

十一月十七日午後一時より青年會社交室に於て例會を開く。留川姉司會、禮拜の後點呼、記錄書記の前回及び教育部集會の記錄朗讀、通信書記並に會計の報告ありて次に奥さく子部會の報告をなす（部會の報告は別に印刷して配布さるゝ筈につき略す）。

本年部會に於て議せられたる十八ヶの議題の中、當支部提出の九州部會專任幹事を成可く早く派遣せらるゝ樣本部に請願するの件につき二日に亘りて熱議の結果、九州の十の支部に於て毎月金卅圓を負擔し、本部より同額以上の補助を與へて幹事の派遣を實行せらるゝやう本部に請願する事に決しました。それで各支部代員は各負擔し得る豫想額を申出ました。私は平均額即ち三圓を申出ましたが、然し是は代員だけの意見です。本當の事はめい〳〵其支部にかへりよく相談をなし、何程負擔せらるるかを聞いて此度の議長であつた牛島夫人に御返事をする事

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に決しました。今日此御相談を致しますさ、宮支部の財政では少しも餘裕はありませんから、別に財源を見出されば是を支出する事は出來ません。それで先決問題さして財務部を設くるの必要を一同感じました。財務部設置の件は協議の結果滿場一致を以て可決。故に同部を中心に會員各自が出來るだけ働いて月三圓の負擔を引受くる事になりました。皆樣の御力を願ひます。部長は委員會で決定の上御通知致します。

尾崎夫人の新を以て閉會、後實助會さ合併して尾崎夫人の送別會をいたしました。

□婦人新報代金領收證

振金一圓廿六錢也　土浦　支部支部 野村なみ子姉
同金一圓十錢也　靜岡　綾部すゑ子姉
同金五十錢也　靜岡　山本貞子姉
同金一圓五十錢也　小石川　川勝柳子姉
同金六十圓也　大阪　大阪支部 安東新子姉
同金五圓五十八錢也　下館　下館支部
同金二圓也　久留米　久留米支部
同金一圓也　峰山　幸野氣和子姉
同金一圓也　兵庫　鹽野順子姉
同金一圓也　金澤　細野壽子姉
同金二圓五十錢也　琊　琊支部 萬代要子姉
同金一圓十錢也　神戸　堀内文一氏
同金一圓也　山梨　貴家友一氏
同金一圓也　同　堀内りん子姉
同金一圓七十五錢也　船堅　青木玉枝子姉
同金五十錢也　長尾　四宮よし子姉
同金二圓也　甲府　渡邊しげ子姉
同金一圓也　東京　荒城まつ子姉
同金一圓十錢也　高崎　藤巻もさ子姉
同金一圓三十四錢也　東京　堀　やす子姉
同金八十五錢也　金澤　堂本きす子姉
同金三圓也　東京　齋藤虎太郎氏
同金一圓五十錢也　高松　高田じゆん子姉
同金七十五錢也　和歌山　山本秀子姉
同金五十錢也　東京　福井ひで子姉
為金一圓也　兵庫　檜前光子姉
同金一圓也　滿州　小館末子姉
同金二圓五十錢也　東京　水田まさ子姉
同金一圓五十錢也　東京　藤島のぶ子姉
同金一圓九十二錢也　靜岡　森脇なほえ子姉
現金一圓八十二錢也　横濱　塚原茂子姉
同金二圓十錢也　高岡　ミス、ショレストン
同金八十三錢也　東京　ミス、テート
同金二圓七十錢也　東京　林　傳次氏
同金二圓六十錢也　東京　廣瀬つやか姉
為金一圓也　若松　増田たま子姉
同金二圓十錢也　山口　小野さわ子姉
同金一圓四十五錢也　越後　木村淨圓氏
同金二圓三十五錢也　水戸　シヤプレス姉
同金二圓也　靜岡　鹿野きよ子姉
同金五十八錢也　佐渡　淺香　寛氏
現金一圓二十錢也　東京　三澤きみへ姉
同金二圓也　王子　高橋よれ子姉
為金八圓也　大牟田　積木千代子姉
現金五十四錢也　長崎　長崎支部
同金一圓六十錢也　東京　滿田ふほ子姉
為金二十一圓〇七錢也　布哇　熊田てる子姉
振金一圓也　若松、三吉ミネ子姉
同金一圓也　若松　藤井ゆき子姉

合計金一百五十八圓六十九錢也

＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

part of the foreign missionary work which should be done by the Anti-Saloon League forces during the next few years."

Strategic Points

There are seven strategic points on which dry forces expect to concentrate in the immediate future, it is announced. These places are:

Scotland, Mexico, New Zealand, South Africa, the Scandinavian countries, Russia and Japan. W. E. Johnson is at work in Scotland; Dr. David Ostlund has just arrived in the Scandinavian countries; others are ready to go at once to the other points of concentration.

Prohibition efforts already have been made there which the League believes may easily be fanned into flames. Two states in Mexico are now dry, and complete Prohibition, in the mind of the drys, would have tremendous effect on all the other Latin-American countries.

Scotland votes next year, and the drys believe that if it adopts Prohibition, the whole British Empire will follow.

Prohibition Advance

In the Scandinavian countries there has been tremendous Prohibition advance. Partial success of Prohibition at the New Zealand polls is held to be insurance that Australia will go dry. Adoption of local option in South Africa would, dry leaders say, pave the way for Prohibition all over the continent. Russia's experiment in Prohibition, and its continuance and enforcement would affect the Balkans favorably. A successful fight against the liquor traffic in Japan would, League men assert, set a standard shortly to be adopted by the entire Orient. American Issue.

Deaths through alcohol have dropped over a hundred per cent. since prohibition in Toronto, Ont. Can. Dr. Hastings, City Medical Officer, reports that for three years prior to prohibition, the deaths due to alcoholism numbered 79, while for the three years following they went to 39. Cirrhosis of the liver, a complaint in which liquor figures largely, dropped from 74 to 48 in the same time, and cerebral hemorrhage, another product of "booze," came down from 625 deaths to 586 since the Ontario Temperance Act.

But if, through all the livelong day,
You've cheered no heart, by yea or nay—
If, through it all
You've nothing done that you can trace
That brought the sunshine to one face—
No act most small
That helped some soul and noting cost—
Then count that day as worse than lost.
If you sit down at set of sun
And count the acts that you have done,
And, counting, find
One self-denying deed, one word
That eased the heart of him who heard—
One glance most kind,
That fell like sunshine where it went—
Then you may count that day well spent.

GEORGE ELIOT.

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

FUJIN SHIMPO

(WOMEN'S HERALD)

No. 269. Dec. 1919.

Illiteracy is Big Obstacle to Temperance

Illiteracy of foreign countries will be one of the chief obstacles to be overcome by the Anti-Saloon League Against Alcoholism in their efforts to make the world dry.

Not only will it be the chief obstacle, but the most costly one, in the opinion of dry leaders, and one of the prime objects the Anti-Saloon League has in mind in its program for $50,000,000 in the next five years, is education of the people in the lands where existing temperance organizations will co-operate in a campaign for Prohibition, according to Ernest H. Cherrington, secretary of executive committee of the Anti-Saloon League and executive secretary of the World League.

Mr. Cherrington points out that it has taken 25 years of League effort, on top of countless years of other efforts preceding the formation of the Anti-Saloon League, and $50,000,000 in money to make the United States dry. It will take additional funds to bring Prohibition enforcement up to the highest state of efficiency, he says.

Illiteracy Great

In face of such facts the League believes the sum it is asking is very small for the needs. The illiteracy of the United States is but seven per cent, while that of the Balkan states is more than 60 per cent; the average in South and Central America is 65 per cent; in Mexico it is more than 80 per cent; in India it is 92 per cent; in Egypt, 93 per cent; in China, 95 per cent.

"The world task would seem well-night hopeless but for the important redeeming fact that in the very beginning of our world missionary project we have the advantage of a great progressive nation with 100,000,000 population," says Mr. Cherrington, "inculuding people of every country of the world, and toward which, in a peculiar sense, the eyes of the world are now turned, which is to present to all the results of a great experiment in National Prohibition.

"This fact which in the very nature of the case is bound to be known and recognized by the peoples of every country will be worth more in most countries in propaganda for world Prohibition than probably all other factors in the early stages of the movement. To see that the world understands and appreciates what Prohibition is doing in the United States and that the leaders of temperance movements in foreign countries understand the methods and plans by which results have been obtained here, constitute an important

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察―毎朝毎夕（但祭日及日曜の他）
院長診察月、木、金午前及木午後六時
林、峯間兩副院長は目下當院に在勤
東京麴町區三番町三十番地（市ケ谷見附內）
電話 番町 六二番 五一六番

東洋內科醫院

院長 醫學博士 高田畊安

電話 ちがさき 二番

南湖院

神奈川縣茅ケ崎海濱（從停車塲半里）
河野、高橋兩副院長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後入院診後應需
診察每日午後（但祭日及日曜の他）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新年の御挨拶

玆に年新にして各位の幸福を祝賀するの光榮を感謝し、併せて弊舗の今日あるを叙するの欣懐を披瀝致し候。伏して冀くは愈々御懇情に浴して、微力最善を盡くすの境地に置かれむことを。

大正九年一月一日

ライオン歯磨本舗

株式會社 小林商店

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

復刻版 婦人新報 第5回配本〔第25〜30巻〕

1985年12月25日 発行

定価 60、000円

発行者 船橋 治

発行所 不二出版(株)
東京都文京区本郷5-28-3
〒113 ☎03(812)4433

印刷所 ワールド印刷

製本所 青木製本

乱丁・落丁はお取り替えいたします。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

UC-NRLF
B 4 212 022

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA